

教科	家庭	科目	服飾手芸	年次	3～4	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		令和版 はじめての「ぬう」と「あむ」＋おさいほう（主婦の友社）					

学習目標	衣生活産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、手芸品製作の基礎を学び、服飾に活用するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指します。 (1) 手芸の種類と特徴及び変遷、各種技法などについて、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。 (2) 手芸の価値及び製作工程に関する課題を発見し、手芸品製作と服飾に活用するため、合理的かつ創造的に解決する力を養います。 (3) 手芸品の製作を目指して自ら学び、創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。	
評価の観点	① 知識・技術	手芸の種類と特徴、技術の変遷、各種技法などについて体系的・系統的に理解して、基礎縫いを習得し製作と活用にかかる技術を身に付けている。
	② 思考・判断・表現	手芸の美的価値・実用的価値や製作工程に関する課題を発見し、手芸品製作と服飾に活用するため、合理的に創造的に解決する力を身に付けている。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	手芸品の製作を目指して自ら学び、作品製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価の方法	製作した作品やリフレクションペーパーで総合的に評価します。また、平常の取組についても評価の対象とします。授業態度や参加姿勢に加え、思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	1 手芸の種類と特徴	・手芸の種類と特徴について理解します。また、手芸の種類と特徴、効果や実用性について課題を発見し、その解決に向けて考察します。
	2 刺し子のふきん	・刺し子の技法を習得し、刺し子ふきんを製作します。
	3 巾着袋	・玉結び玉止め、返し縫い、まつり縫いなど基礎縫いを習得し、袋物製作の手順を学び、巾着袋を製作します。衣服の補修やネーム刺しゅうに応用しましょう。
	4 コースター	・ランニングステッチの技法を習得し、好きな図案を刺しゅうして、コースターを製作します。
	5 マスコット	・好きなデザインを考え、フェルトと刺しゅう糸を用いたマスコットを製作します。
	6 ミサンガブレスレット	・自分の好みのカラーリングを考えます。 ・巻き結びの技法を習得し、ブレスレットを製作します。
後期	7 手芸の変遷	・手芸技法の変遷について理解します。また、手芸の変遷と技法との関係について課題を発見し、その解決に向けて考察します。
	8 アクリルたわし	・指編みやかぎ編みを習得し、アクリル毛糸を使ったエコたわしを製作します。
	9 ティッシュボックスカバー	・ミシンの使い方を学び、直線縫いの作品を製作します。
	10 水引細工	・水引細工の基本であるあわじ結びやかなえ結びを製作します。
	11 ストラップ	・飾り結びでストラップを製作します。 ・ひもの色やビーズの模様の組み合わせを工夫します。
	12 コサージュ	・素材や色柄を生かしたコサージュや季節の飾りものを製作します。